

専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン項目とその対応

新潟農業・バイオ専門学校（平成25年11月21日現在）

（1）学校の概要

【校長名、所在地、連絡先等】

学校名 新潟農業・バイオ専門学校
校長名 新美 芳二
所在地 〒950-0932 新潟県新潟市中央区長潟2-1-4
連絡先 025-368-7123

設置者名 学校法人 国際総合学園
代表者名 池田 弘
所在地 〒951-8065 新潟市中央区東堀通一番町494番地3

【学校の沿革・歴史】

設置認可年月日 平成22年12月24日
開校年月日 平成23年4月1日

（2）目的及び計画

【学校の設置目的】

本校は学校教育法に基づき、高等学校教育の基礎の上に、職業もしくは実生活に必要な技能と教養の向上を図るために、農業、バイオテクノロジー、園芸分野に関する専門的な教育を行う。この教育を通じて地域社会の発展に寄与できる優秀な人材を育成することを目的とする。

【学校の経営方針】

本校の経営方針は、健全なる財務体質を基礎とし、教育指導計画の実現を目指す。教職員一丸となって教育指導計画の実現を農業、バイオテクノロジー、園芸分野に関する専門的な教育を行う

【教育指導計画】

①新潟農業・バイオ専門学校のコンセプト

本校は以下のコンセプトに基づいて、教育指導計画を作成する。

いのちを育む仕事に就こう！
食・農・緑に関わる仕事に就く
食の未来、農の未来、環境の未来をリードする人材を輩出する！

②新潟農業・バイオ専門学校（A B i o）のミッション

本校が目指す専門学校像は以下のミッションにて示される。このミッションに基づき学生指導、専門教育の実現を図る。

- ①食・農・環境といった「いのちを育む」仕事に就くことを目指す専門学校
- ②新潟から日本の次世代の農業のビジネスモデルを担う人材が輩出される専門学校
- ③新潟県が持っている資源・活力を永続的に発展させていく人材を輩出させる専門学校

ABi oは人材育成、教育内容によって新潟にとって必要とされる学校です
 ABi oはこれまでの農業・園芸・バイオテクノロジーの業界イメージを変える学校です

③新潟農業・バイオ専門学校 校訓

本校は以下の校訓に基づき、学生への専門教育ならびに人間教育の実現に努める。
 また、在校生へは以下の校訓の浸透により社会にとって有用な人材への成長を図る。

誠実

自分の目標、能力に誠実であれ

調和

他者、地域社会との調和を重んじること

進取

自分の意志を持ち、何事にも挑戦すること

【学校安全計画】

- ①防火管理主任者を設置し、教職員にて安全担当者を設置している。
- ②年に1回の避難訓練の実施により避難経路の確認を実施している。
- ③入学時に個人ごとに防災グッズを購入し、学内に配置、卒業時に本人に配布。
- ④年に1度、近隣住民対象の情報交換会を実施し、非常時の協力体制を確認している。

(3) 各学科等の教育

【定員数、入学者数、在生徒数】

平成25年11月21日現在

学科	総定員数	入学者数 (平成25年4月)	在生徒数
農業経営科 2年制	80人	19人	43人
農業経営科 4年制	80人	8人	17人
バイオテクノロジー科 2年制	60人	33人	66人
バイオテクノロジー科 4年制	40人	11人	22人
園芸デザイン科	60人	18人	25人
新潟農業・バイオ専門学校合計	320人	89人	173人

【カリキュラム】

農業経営科2年制 カリキュラム表(修業年限2年)

【H25年度生】

区分	科目名	必修・選択の別	1年次	2年次	合計時間数
専門科目 学科授業	植物学概論	必修	32		32
	野菜栽培学	必修	32		32
	植物病理学	必修	32		32
	農業機械	必修		32	32
	農業法規	必修	32		32
	農産物加工論	必修	32		32
	農業経営	必修	32		32
	栽培学概論	必修	32		32
	作物栽培学	必修	32		32
	土壌肥科学	必修		32	32
	アグリビジネス論Ⅰ	必修		32	32
	農業簿記基礎	必修	64		64
	マーケティングⅠ	必修		32	32
	果樹栽培学	必修	32		32
	グリーン・ツーリズム論	必修		32	32
現代農業の課題	必修		64	64	
(学科授業時間数小計)			352	224	576
専門科目 実習授業	農業基礎総合実習	必修	192		192
	農業経営体派遣実習Ⅰ	必修		192	192
	水稲栽培実習Ⅰ	必修	96		96
	水稲栽培実習Ⅱ	必修		96	96
	果樹・野菜栽培実習Ⅰ	必修	96		96
	果樹・野菜栽培実習Ⅱ	必修		96	96
	食品加工実習Ⅰ	必修		96	96
プロジェクト実習Ⅰ	必修		128	128	
(実習授業時間数小計)			384	608	992
専門科目授業時間数			736	832	1568
一般科目	就職実務	必修	64	32	96
学科授業	農業基礎論	必修	32		32
(学科授業時間数小計)			96	32	128
一般科目実習授業	OA実習	必修	96		96
(実習授業時間数小計)			96	0	96
一般科目授業時間数			192	32	224
年間授業時間数			928	864	1792

別表2

農業経営科4年制/大学併修コース カリキュラム表(修業年限4年)

[H25年度生]

区分	科目名	必修・選択の別	1年次	2年次	3年次	4年次	合計時間数
専門科目 学科授業	植物学概論	必修	32				32
	野菜栽培学	必修	32				32
	植物病理学	必修	32				32
	農業機械	必修		32			32
	農業法規	必修	32				32
	農業経営	必修	32				32
	農産物加工論	必修	32				32
	栽培学概論	必修	32				32
	作物栽培学	必修	32				32
	土壌肥科学	必修		32			32
	アグリビジネス論Ⅰ	必修			32		32
	アグリビジネス論Ⅱ	必修				32	32
	農業論基礎	必修	64				64
	果樹栽培学	必修	32				32
	マーケティングⅠ	必修			32		32
	グリーン・ツーリズム論	必修			32		32
	現代農業の課題Ⅰ	必修			64		64
	流通学	必修				64	64
(学科授業時間数小計)			352	224	96	0	672
専門科目 実習授業	農業基礎総合実習	必修	192				192
	農業経営体験実習Ⅰ	必修		192			192
	農業経営体験実習Ⅱ	必修			192		192
	水稲栽培実習Ⅰ	必修	96				96
	水稲栽培実習Ⅱ	必修		96			96
	果樹・野菜栽培実習Ⅰ	必修	96				96
	果樹・野菜栽培実習Ⅱ	必修		96			96
	食品加工実習Ⅰ	必修		96			96
	プロジェクト実習Ⅰ	必修		128			128
	プロジェクト実習Ⅱ	必修				128	128
農業関連企業実習Ⅰ	必修				192	192	
卒業研究	必修				192	192	
(実習授業時間数小計)			384	608	192	512	1696

別表2

バイオテクノロジー科2年制/醸造・食品コース カリキュラム表(修業年限2年) 【H25年度生】

区分	科目名	必修・選択の別	1年次	2年次	合計時間数
専門科目 学科授業	基礎化学	必修	64		64
	環境科学	必修	64		64
	生物学	必修	64		64
	微生物学	必修	64		64
	生命工学	必修	64		64
	毒劇物概論	選択	48※	48※	96※
	危険物	選択	50※		50※
	統計学	必修		64	64
	生化学	必修		64	64
	分子生物学	必修		64	64
	遺伝子工学	必修		64	64
	栄養学	必修		64	64
	HACCP	必修		64	64
	酒類一般・醸造学	必修		64	64
	(学科授業時間数小計)			320	448
専門科目 実習授業	化学実験	必修	96		96
	微生物実験	必修	96		96
	生命工学実験	必修	160		160
	食品開発実習	必修		160	160
	醸造実習	必修		160	160
(実習授業時間数小計)			352	320	672
専門科目授業時間数			672	768	1440
一般科目 学科授業	色彩	必修	32		32
	就職実務	必修	32	32	64
	一般教養	必修		36	36
(学科授業時間数小計)			64	68	132
一般科目実習授業	OA実習	必修	128		128
(実習授業時間数小計)			128	0	128
一般科目授業時間数			192	68	260
年間授業時間数			864	836	1700

凡例: ※「毒劇物概論」「危険物」未取得者のみ受講、授業時間数合計には含まれません

バイオテクノロジー科2年制/環境検査コース カリキュラム表(修業年限2年)

【H25年度生】

区分	科目名	必修・選択の別	1年次	2年次	合計時間数
専門科目 学科授業	基礎化学	必修	64		64
	環境科学	必修	64		64
	生物学	必修	64		64
	微生物学	必修	64		64
	生命工学	必修	64		64
	毒劇物概論	選択	48※	48※	96※
	危険物	選択	50※		50※
	統計学	必修		64	64
	生化学	必修		64	64
	分子生物学	必修		64	64
	遺伝子工学	必修		64	64
	環境科学工学	必修		64	64
	環境マネジメント	必修		64	64
	分析化学	必修		64	64
(学科授業時間数小計)			320	448	768
専門科目 実習授業	化学実験	必修	96		96
	微生物実験	必修	96		96
	生命工学実験	必修	160		160
	環境学化学実験Ⅰ	必修		160	160
	環境学化学実験Ⅱ	必修		160	160
(実習授業時間数小計)			352	320	672
専門科目授業時間数			672	768	1440
一般科目 学科授業	色彩	必修	32		32
	就職実務	必修	32	32	64
	一般教養	必修		36	36
(学科授業時間数小計)			64	68	132
一般科目実習	OA実習	必修	128		128
(実習授業時間数小計)			128	0	128
一般科目授業時間数			192	68	260
年間授業時間数			864	836	1700

凡例 ※「毒劇物概論」「危険物」未取得者のみ受講、授業時間数合計には含まれません

区分	授業科目	必修・選択の別	1年次	2年次	3年次	4年次	合計時間数
専門科目 学科授業	基礎化学	必修	64				64
	環境科学	必修	64				64
	生物学	必修	64				64
	微生物学	必修	64				64
	毒劇物概論	選択	48※	48※			96※
	危険物	選択	50※				50※
	統計学	必修			64		64
	生化学	必修			64		64
	分子生物学	必修			64		64
	遺伝子工学	必修			64		64
	環境科学工学	必修			64		64
	環境マネジメント	必修			64		64
	分析化学	必修			64		64
酒類一般・醸造学	必修				64	64	
(学科授業時間数小計)			256	448	64	0	768
専門科目 実習授業	化学実験	必修	96				96
	微生物実験	必修	96				96
	生命工学実験	必修	160				160
	環境学化学実験Ⅰ	必修		160			160
	環境学化学実験Ⅱ	必修		160			160
	食品開発実習	必修			160		160
	醸造実習	必修				160	160
	卒業研究実習	必修				384	384
(実習授業時間数小計)			352	320	160	544	1376
専門科目授業時間数			608	768	224	544	2144
一般科目 学科授業	色彩	必修	32				32
	就職実務	必修		32	32	32	96
	一般教養	必修	6	36			42
(学科授業時間数小計)			38	68	32	32	170
一般科目 実習授業	OA実習	必修	128				128
(実習授業時間数小計)			128	0	0	0	128
一般科目授業時間数			166	68	32	32	298
(専門+学校授業時間小計)			774	836	256	576	2442
放送大学			128	64	544	224	960
年間授業時間数(含放送大学)			902	900	800	800	3402

※未取得者のみ受講、授業時間数合計には含まれません

※2年次は環境検査コースの実習・専門科目、3、4年次は醸造・食品加工コースの実習・専門科目に参加

別表2

園芸デザイン科2年制 カリキュラム表(修業年限2年)

【H25年度生】

区分	科目名	必修 選択の別	1年次	2年次	合計時数	
専 科 目 学 科 授 業	樹木学(集中)	必修		32	32	
	植物学概論	必修		32	32	
	環境と法規	必修			32	32
	植物病理学	必修		32		32
	園芸福祉概論	必修		32		32
	環境保全論	必修		32		32
	施工管理学	必修			32	32
	販売学概論	必修		32		32
	景観論	必修			32	32
	土壌肥科学	必修			32	32
	樹木医学	必修			32	32
	都市計画	必修			32	32
	ガーデンデザイン論I	必修		32		32
	ガーデンデザイン論II	必修			32	32
	フューアレンジ概論	必修		32		32
	フュービジネス論	必修		48		48
(学科授業時数小計)			304	224	528	
専 科 目 実 習 授 業	農業基礎総合実習	必修		96	96	
	基礎園芸実習	必修		96	96	
	フューデザイン実習	必修		32	32	
	植物病理学実習	必修		32	32	
	生態系調査実習	必修			64	64
	植物育成管理学実習	必修			64	64
	ガーデニング実習	必修			96	96
	環境デザイン実習I	必修		96		96
	環境デザイン実習II	必修			96	96
	フューコーディネート実習I	必修		64		64
	フューコーディネート実習II	必修			96	96
	園芸総合実習	必修			64	64
ゼミナール	必修			96	96	
(実習授業時数小計)			416	576	992	
専 科 目 授 業 時 数			720	800	1520	

【進級・卒業の要件】

- ① 学科 90%以上、実習・実験 95%以上の出席
- ② 成績評価がすべてC以上
- ③ カレッジリーグフィールドワークプログラム（CFP）の規定点数以上の取得

【学習の成果として取得を目指す資格】

- ・農業経営科
日本農業技術検定 3級、2級
全経簿記検定 3級
E X C E L表計算処理技能認定試験 3級 他
- ・バイオテクノロジー科
中級バイオ技術者認定試験
危険物取扱者乙種第四類
水質関係第四種公害防止管理者
E X C E L表計算処理技能認定試験 3級 他
- ・園芸デザイン科
室内園芸装飾技能士
販売士 3級
フラワーカラー検定 3級
E X C E L表計算処理技能認定試験 3級 他

【主な資格取得の実績（平成24年度）】

日本農業技術検定 3級 85%
 中級バイオ技術者認定試験 75%
 危険物取扱者乙種第四類 54%
 室内園芸装飾技能士 100%
 造園技能士 100%
 フローリスト検定 3級 100%
 E X C E L表計算処理技能認定試験 3級 91%

【卒業生数・卒業後の進路（平成24年度卒業生）】

平成24年度末時点（平成25年3月卒）	合計数
在籍者数	59
卒業生数（A）	58
就職希望者数（求職票登録者数）（B）	49
専門分野就職者数（C）	45
専門外分野就職者数（D）	2
家業継承・農業研修制度利用者数（E）	3
縁故・独自活動（F）	4
進学者数（G）	1
就職率：(C+D) / B	95.9%
進路決定率：(B+C+D+E+F+G) / A	94.8%

【主な就職先】

J A魚沼みなみ、J A新津さつき、株式会社四ツ郷農業生産組合、株式会社ブルボン、株式会社越後鶴亀、株式会社中条エンジニアリング、株式会社コメリ、株式会社芳樹園、株式会社OCガーデン、新新薬品工業株式会社、まるこう食品株式会社、株式会社大庄、有限会社ササヌマ園芸センターなど

(4) 生徒指導・生活指導

【生徒・生活指導の方針】

クラス担任制をしき、担任を中心とした進路指導を実施。また、各界で活躍されている専門家を非常勤講師で招き、現場に即した実習授業、講座を実施している。

【中途退学者への対応】

平成 24 年度 中途退学者 3 名 中途退学率 2.1%

中途退学の主な理由：進路変更、精神的な疾患など

中途退学者防止のための取組：担任、教務部、保護者とのきめ細かい連携の実施。提携している産業カウンセラー団体の活用。教職員間での情報の共有化を進めることで中退防止を図っている。

(5) キャリア教育等

【キャリア教育・就職支援等の取組状況】

就職相談室（担当就職部長）を設置し、クラスの枠を超えた就職指導を実現している。毎週、就職対策授業として全クラスに「就職実務」を設置している。この授業では、1 年次には就職の心構え、キャリアプランの検討を行い、就職年次には就職活動で必要な情報提供、模擬面接などを行っている。

また、積極的な人生観を育むことを目的とした教育プログラム「実践行動学」を実施し、人生観の構築の補完をしている。

年に 2 度の保護者会を実施し、就職に関する保護者との情報共有を図っている。

(6) 様々な教育活動

【学校行事への取組状況】

AB i o 体育祭の実施：例年 7 月

AB i o 祭（学園祭）の実施：例年 10 月第 2 週

地域の祭りへの参加：いたやま夢祭り（4 月下旬）、稲刈りイベント（9 月）

【部活動、放課後活動の状況】

サークル活動：野球部、料理部、ソフトテニスサークル、バトミントンサークル、写真部、農業サークル

【家庭・地域・企業との連携による取組】

近隣小学校の総合学習受け入れ

NST 主催にいがた川祭りブース出展

にいがたカナル彩ブース出展

新潟県立植物園まつりにてブース出展

フードメッセ I N にいがたにてブース出展など

(7) 教職員

【教職員数】

専任教員数	兼任教員数	専任職員数	総教員数
8人	17人	4人	29人

【教職員の主な活動】

平成 24 年度～25 年度にかけて当校担当講師は下記の研修への参加がある。研修等への参加を通して教務力の向上、自己研鑽を図っている。

副校長／教務部長：新潟経済同友会主催 地域委員会参加

新潟県工業技術総合研究所主催 新潟植物工場研究会参加

就職部長：就職指導者対象研修

農業経営科主任：新潟県グリーン・ツーリズム大会 in 佐渡（佐渡市）

第 11 回全国グリーン・ツーリズムネットワーク福井大会（福井県越前市）

第14回日本インターンシップ学会（北海道札幌市）

日本園芸福祉普及協会第12回園芸福祉シンポジウムながおか（長岡市）

農業経営科講師：東北農業経済学会（東北大学）

日本農業市場学会（新潟大学）

農業経営科兼任講師：新潟自然栽培研究会主催 自然栽培講座

バイオテクノロジー科講師：日本情報経営学会 口頭発表（群馬大学）

園芸デザイン科講師：日本フラワーデザイナー協会より講師資格認定

新潟県花と緑の普及推進協議会参加

（8）入学者選抜、生徒納付金・就学支援

【高等学校への情報提供／学生募集活動】

高等学校への情報提供は学校案内、教育実績、学生生活、就職先など十分に行われている。また、学生募集活動に関してもグループ内のガイドライン、また一般的な商習慣に則って適正に行われている。

【入学者選抜】

入学者選抜は当校が求める人材像（アドミッションポリシー）に基づき、各年度に発行される学生募集要項に記載された方法にて実施される。

当校が求める人材像（アドミッションポリシー）：「食」「農」「緑」のプロフェッショナルになる

入学者選抜方法（平成26年度入学生分）

出願区分	出願資格	入学試験内容
AO入試	AO面談を受け、AO入試出願許可証をお持ちの方	書類審査
AO特待入試	AO面談を受け、AO入試出願許可証をお持ちの方で、高校生特待入試、社会人特待入試のいずれかの出願資格を満たす方	書類審査と面接試験の総合評価
高校生特待入試	以下の（1）～（3）いずれかを満たす方 （1）高等学校での学習評定平均3.3以上かつ高等学校卒業年次1学期または前期までの欠席日数10日以内の方 （2）「生徒会」もしくは「部活動」の役員経験者 （3）競技大会やコンテスト等で、都道府県レベル以上で優秀な成績をおさめた方	書類審査と面接試験の総合評価
社会人特待入試	なし	書類審査と面接試験の総合評価
指定校推薦入試	オープンキャンパスに1回以上参加した方で、下記のいずれかを満たす方。 ・高等学校での学習成績評定平均値3.0以上 ・高等学校の担任及び高等学校長の推薦を受けた方	書類審査
高校推薦入試	高等学校での学習評定平均2.7以上かつ高等学校卒業年次1学期または前期までの欠席日数10日以内の方	書類審査
一般入試	なし	書類審査と面接試験の総合評価
併願入試	なし	書類審査と面接試験の総合評価

【生徒納付金】

授業料・入学金等の費用に関する金額については各年度に発行される学生募集要項に記載された金額とする。

■平成 25 年度授業料及び入学金一覧

全課程の1年次および2年次

学 科 名	修業年限	入学金	授業料	施設設備費	施設維持費	実験実習料	合計
農業経営科	2年	70,000	560,000	250,000	220,000	100,000	1,200,000
農業経営科	4年	70,000	560,000	250,000	220,000	100,000	1,200,000
バイオテクノロジー科	2年	70,000	560,000	250,000	220,000	100,000	1,200,000
バイオテクノロジー科	4年	70,000	560,000	250,000	220,000	100,000	1,200,000
園芸デザイン科	2年	70,000	560,000	250,000	220,000	100,000	1,200,000
入学検定料 20,000(全学科共通)							

4年制課程の3年次および4年次

学 科 名	修業年限	授業料	施設設備費	施設維持費	実験実習料	合計
農業経営科	4年	540,000	250,000	220,000	60,000	870,000
バイオテクノロジー科	4年	540,000	250,000	220,000	60,000	870,000

【就学支援】

当校にて活用できる就学支援措置については次のURLにて公開されている。

<http://mydreams.jp/scholarship.html>

(9) 学校の財務

当校（当学校法人）の財務状況は次のURLにて公開されている。

http://abio.jp/recruit/pdf/zaimu_kokusai.pdf

(10) 学校評価

当校の自己評価ならびに学校関係者評価については次のURLにて公開されている。

学校自己評価： http://abio.jp/recruit/pdf/h25_hyouka01.pdf

学校関係者評価： http://abio.jp/recruit/pdf/h25_hyouka02.pdf

(11) その他

【学則】

当校の学則は次のURLにて公開されている。

学則： http://abio.jp/recruit/pdf/h25_hyouka03.pdf